

第12期第3回東京都福祉のまちづくり推進協議会 福祉保健局長挨拶
令和2年6月12日

日頃より、東京都における福祉のまちづくり施策に対し御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回の第12期第3回東京都福祉のまちづくり推進協議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面形式にて開催させていただくこととなりました。

本来、第3回東京都福祉のまちづくり推進協議会は4月開催予定でしたが、当時の新型コロナウイルス感染症の国内の感染状況を考慮して延期とさせていただき、本日の書面開催に至りました。

委員の皆様の御理解・御協力に心から御礼申し上げます。

さて、昨年12月26日に開催いたしました、第12期第2回東京都福祉のまちづくり推進協議会におきましては、第12期の審議テーマをお諮りし、今後は「東京2020大会の継承すべきレガシーと今後の課題について」というテーマで東京2020大会の成果を検証し、継承すべきレガシーを整理するとともに、そのレガシーを都内全域において浸透させるための施策の方向性を検討することを承認していただいたところです。

しかし、このたびの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、本年3月、東京2020大会の日程が1年延期されることとなりました。

大会の延期に伴い生じた期間を活用し、よりバリアフリーが進んだ大会とするためには、東京2020大会を契機とした取組状況を踏まえつつ、大会までの1年間で取り組むべき事項等を検討する必要があると考えます。

そこで、今期の審議テーマを「東京2020大会を契機としたバリアフリー化の推進に向けて」とし、大会までに可能なバリアフリーの取組に焦点を当て、大会までの1年間で集中的に取り組むべき事項等を検討していくことについて、御意見を頂戴したいと考えております。

また、今年10月の意見書提出を見据えたスケジュール案についてもお示しいたします。

委員の皆様には、様々な視点から御意見をいただきますよう、よろしく願いいたします。